

『名中 愛』

学校運営協議会と生徒会役員との懇談会を行いました

12月11日(木)、学校運営協議会のみなさんと、生徒会役員との懇談会を行いました。

今回のテーマは「名張の未来を担う私たち～世代を超えて、夢を育み未来を創る～」。

生徒からは「地域への願い」や「地域とのかかわりを通して中学生としてできること」、地域・保護者のみなさんからは「大人として子どもたちのためにできること」について、ゆっくりと意見を交わす時間となりました。

まず、生徒たちは「中学校を卒業するまでに身につけたい力」について話し合いました。「人の意見を受け止める力」「場面に応じた話し方」「コミュニケーション力」「積極的に行動する力」など、さまざまな思いが語られました。

一方、委員のみなさんからは「地域・保護者として、子どもたちに身に付けてほしい力」についてご意見をいただきました。「自分の考えをしっかり持って意見を伝えること」「正しい判断ができること」「マナーや思いやりを大切にすること」など、温かい願いが寄せられました。

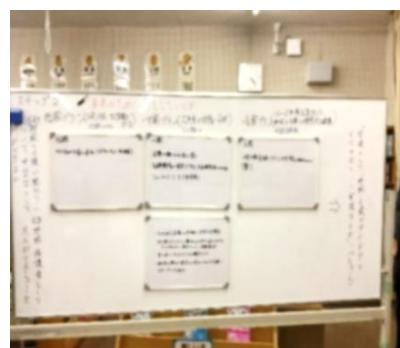
それらを受け、生徒たちは「これから自分たちにできること」を、運営協議会のみなさんは「地域・保護者としてどのように支えていけるか」を、それぞれの立場から考えるひとときとなりました。

初めての試みでしたが、参加された委員の方からは、「生徒の率直な思いや意見を直接聞くことができ、とても良い時間になった。今日のように、自分たちの声が地域や学校をよりよくしていくことを感じながら、これからも積極的に意見を発信してほしい」というお声もいただき、充実した懇談会となりました。

地域の皆さんには、今後とも本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



考えたプランを説明する生徒会役員



「名張中ホームページ」では、「学校だより」(最新号)をカラーでご覧いただけます。また、子どもたちの活動を随時紹介しています。右のQRコードを読み取っていただくと、表示されます。ぜひご覧ください。



3年生保育実習

12月中旬、3年生が保育実習に行きました。名張きぼうの子ども園にご協力をいただき、各クラスがそれぞれ半日ずつの実習を行いました。園児との遊びやふれあい等を通じて、保育には温かい人間的交流が必要であることや、子どもの発育や発達の段階に応じた育児や関わりが大切なことを知ることができました。



ピースメッセンジャー発表 in ふれ愛コンサート

12月7日(日)adsホールで開催された「ふれ愛コンサート第1部」にて、名張市内の各中学校から選抜されたピースメッセンジャーの学習発表がありました。本校からは2年生生徒2名が、この1年間取り組んできたことについて、広島修学旅行での平和学習を含め、平和への願いを発表しました。第2部では、原爆の子の像のモデル佐々木禎子さんの実兄である佐々木雅弘さん、甥の佐々木祐慈さんと舞台上で対談を行いました。

名張中学校では、2学期終業式後に、全校生徒に向けてピースメッセンジャーの2人から、一年間の取組について発表する機会を持ちました。また、全校生徒が「平和メッセージ」を書いた、一つの作品を、今後名張市役所に展示してもらう予定です。

来年も継続して平和学習に取り組んでいきます。



1・2年生合唱コンクール

12月11日(木)12日(金)、1・2年生の合唱コンクールが開催されました。指揮者や伴奏者、そして実行委員を中心に、よりよい合唱を目指して、各クラスで自分たちの課題に向き合いながら、練習を重ねてきました。そして迎えた本番では、どのクラスも持てる力を出し切った、素晴らしい合唱を聴かせてくれました。名張中学校の伝統の一つである「合唱」の継承が実感できた時間となりました。



体育「ダンス」

市内でダンススクールを開かれている方を講師にお招きし、全学年の体育の授業で、ヒップホップの創作ダンスを行っています。最終日にはさまざまなステップを入れて、一曲のダンスを完成することができました。動きを揃えようと真剣な表情で取り組む姿や、終わった後に達成感を感じている様子が印象的でした。学習を通して、表現することの楽しさや、仲間と一つのものを作り上げる喜びを味わうことができたようです。

